

### ③キャンパスの基本方針

大学基本理念：三重から世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学

地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、社会との共創に向けて切磋琢磨する。

本学は、大学基本理念のもと、地域に貢献する総合力とチーム力を高めて「つながる知、ひらく未来、地域共創大学」への発展に努めます。すべての構成員がSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨を理解し、環境先進大学としての取組をさらに強化し、環境・SDGsのプラットフォーム機能を築き上げ、カーボンニュートラル社会の形成などに向けた環境の諸課題を地域とともに探求し、新しいコミュニティづくりの一翼を担う地域共創大学として、持続可能な社会の構築に寄与します。

本学では、低炭素型のエネルギーマネジメントの実施として、カーボンフリー大学構想、スマートキャンパス大学の取組を実施してきましたが、2050年のカーボンニュートラル達成には、これまで以上の取組が必要です。

「キャンパスのカーボンニュートラル」では、3つの基本方針を策定してカーボンニュートラルを推進していきます。具体的には「再生可能エネルギーの活用：創エネ」「建物の省エネルギーの徹底：省エネ」そして「森林整備・保全によるCO<sub>2</sub>吸収：吸収」です。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、これまでの取組を継続しながら、3つの新たな取組を実行に移して2050年の削減目標に向かって推進していきます。



図4 三重大学環境・SDGs方針